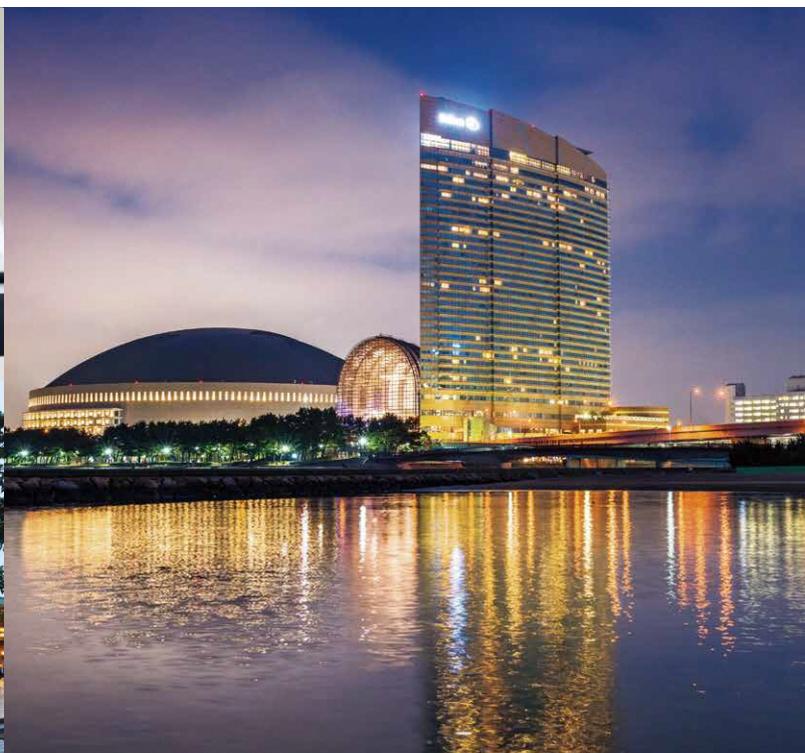
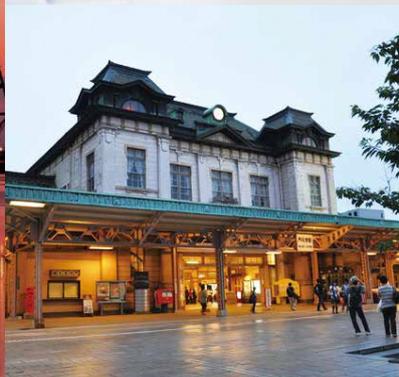


FUKUOKA 2021

福岡県
専門研修
ガイド



福岡で取り組む医療の最前線



FUKUOKA 2021 × 専門研修



福岡県だからこそあなたのキャリアが活かされる

従来の各学会が「独自で運用する」認定プログラムを第三者機関である「日本専門医機構」によって運用することになり、それまでバラバラであった専門医資格の認定基準が、「新専門医制度」によって統一されることになりました。

働きやすい医療環境への取り組みに積極的な福岡県では、医師のキャリア形成や女性医師の就労継続、医療従事者の勤務環境改善の支援など、あなたが十分にキャリアを発揮できる専門研修の環境をご用意しています。

働きがいを高める研修制度やキャリアアップ制度などに対する支援にも積極的に取り組み、そのためのアドバイスや相談も行っています。

また、新たな専門医資格の取得を可能とするプログラムの整備を促進し、キャリアアップをサポートしています。

ここ福岡が、あなたの活躍の場を広げます。

INFORMATION 専攻医登録（応募）スケジュール

下記は2022年度の「専攻医登録（応募）スケジュール」で、来年度以降の専門研修希望の方も今年度のスケジュールを参考に専攻医登録の準備をしましょう。予定変更などの詳細な日程については機構ホームページを随時チェックしておきましょう。

【専攻医一次募集】

応募期間	2021年11月 1日(日)正午～2021年11月12日(金)正午まで
採用調整期間	2021年11月15日(日)正午～2021年11月24日(水)正午まで
採否結果通知	2021年11月29日(日)
募集実施確認期間	2021年11月25日(水)正午～2021年11月29日(日)正午まで

【専攻医二次募集】

応募期間	2021年12月 1日(水)正午～2021年12月14日(水)正午まで
採用調整期間	2021年12月16日(金)正午～2021年12月23日(金)正午まで
採否結果通知	2021年12月24日(金)
募集実施確認期間	2021年12月24日(金)正午～2022年 1月 5日(水)正午まで

【専攻医一次募集】

応募期間	2022年 1月 6日(水)正午～2022年 1月18日(水)正午まで
採用調整期間	2022年 1月20日(金)正午～2022年 1月28日(金)正午まで
採用結果通知	2022年 1月31日(日)

※ 採用数が上限数に達した場合は、次の登録（募集）は行いません。
 ※ 2022年1月18日正午以降は、登録（募集）は行いません。
 ※ 一般社団法人 日本専門医機構 (https://jmsb.or.jp/) 参照

【臨床研究医コース専攻医募集】

専攻医募集期間	2021年 9月 1日(水)正午～2021年 9月22日(水)正午まで	採用通知(メールにて通知)	2021年10月11日(日)
---------	-------------------------------------	---------------	----------------

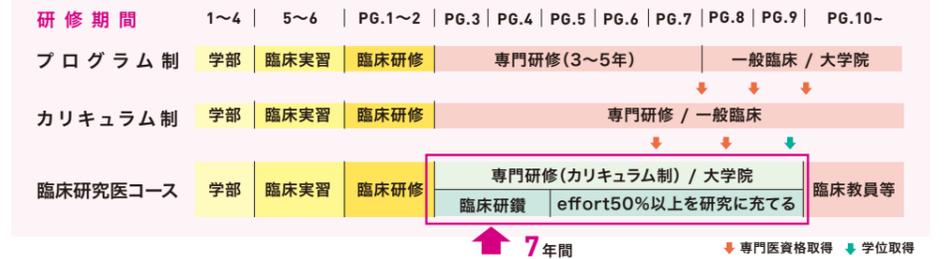
※ 臨床研究医コースに不採用となった場合は、上記一般領域への応募が可能です

TOPICS 専門研修豆知識

■ プログラム制とカリキュラム制、臨床研究医コースについて

新専門医制度は基幹施設・連携施設の専門研修施設群による研修期間設定のあるプログラム制が原則となっておりますが、「新整備指針」により、地域枠医師や出産子育て、介護、留学、その他の事情でプログラム制により研修が困難な場合は、カリキュラム制（原則研修期間設定のない）による研修が用意されています。

また、2021年度から、臨床研究医を養成する目的で「臨床研究医コース」（研修期間7年/カリキュラム制）が新設されました。同コースの募集は一般の19領域に先駆けて実施するため、不採用となった場合は一般領域への応募が可能です。



■ サブスペシャリティ領域の連動研修について

日本専門医機構は内科・外科・放射線科のサブスペ領域を認定し、同領域については連動研修も認められました。一方、日本専門医機構認定によるサブスペ領域専門研修は、コロナ等の影響で2022年4月を開始予定としており、現時点では従来通り各サブスペ領域学会の研修を行うこととなります（後日、サブスペとして認められた領域は2021年4月に遡って研修実績を認める方針です）。

県内の内科・外科・放射線科のサブスペシャリティ領域
 および連動研修情報の詳細を知りたい方はこちらへ



制度については、ページ下部の
 【サブスペシャリティ領域専門研修細則】
 をご参照ください



■ 診療科別のシーリング（募集定員の上限）について

2022年度の専攻医登録については、地域別に外科・産婦人科・病理・臨床検査・救急・総合診療を除く13の基本領域に対して個別のシーリングが設定されている場合があります。福岡県においては、内科・皮膚科・精神科・整形外科・眼科・放射線科・麻酔科・形成外科にシーリングが設定されています。また、医師充足率が低い地域での専門研修（期間が1年6か月以上）を行う「地域研修プログラム」が新たに設定され、当該プログラムはシーリング対象外となります。

2022年度プログラム応募シーリング数を知りたい方はこちらへ



■ 参考

「専攻医登録・応募」

https://jmsb.or.jp/senkoi/#an02



「専攻医の方 よくある質問」

https://jmsb.or.jp/senkoi_faq/



「総合診療専門医 よくある質問」

https://jmsb.or.jp/sogo_faq/



■ 専攻医の働き方改革について

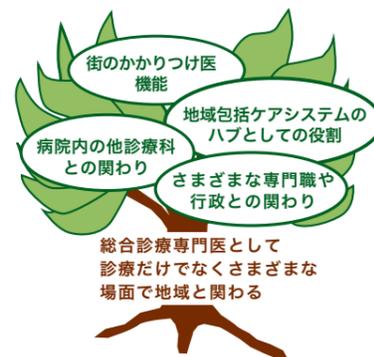
「医師の働き方改革」により2024年の4月から、年間960時間（月100時間/例外あり）を超える時間外労働は規制の対象となります。ただし、専攻医が研修プログラムに沿って基礎的な技能や能力を修得することを目的として特定された研修期間（「集中的技能向上水準/C-1水準」）は、勤務間インターバルの実施などの追加的な健康確保措置を講じつつ年間1,860時間（月100時間/例外あり）までの時間外労働が可能となります。こうした年間960時間を超える特例措置は、2035年度末までに縮減する方向性が決まっています。

■ 新専門医制度により、ますます期待が高まる「総合診療医」

今後の急速な高齢化などにより、総合的な診療能力を有する医師の専門性を学術的に評価する事が求められ、「総合診療専門医」が19番目の新たな基本診療領域の専門医として位置づけられました。

総合診療専門医は、日常遭遇する疾病と傷害などに対して適切な初期対応をし、必要に応じた継続的な診療を全人的に提供します。地域のニーズを踏まえた疾病の予防・介護・看とりなど、保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する使命を担います。

また、専門医機構は、総合診療専門医取得後に内科専門医を取得（ダブルボード）を推進する方針も示しています。



Question & Answer

専門研修に関する疑問

FUKUOKA × RESEARCH

福岡県の現役「研修医」にアンケートを実施しました！

※各項目ごとの無回答は外して集計しています

福岡県内の臨床研修病院で働く
207名の研修医に聞きました

Q 新しい専門医制度の対象は誰？

A 原則として、初期臨床研修を2018年3月末以降に修了した医師で、基本領域の専門研修を希望する方々です。

Q 新しい専門医制度はどんなもの？

A 基本領域とサブスペシャリティ領域の二段階制になっています。基本領域科目は次のページで確認しよう！

Q 専門研修施設はどんなもの？

A 地域の中核病院などが基幹施設となり、関連する連携施設と研修施設群を構成し、研修プログラムに基づき各研修施設でローテート研修を行います。福岡県の研修プログラムは次のページの「基幹施設一覧」で確認しよう！

Q 「専攻医」になって専門医資格を取得するまでの流れは？

A 専門医資格を取得するまでの基本的な流れを確認しよう！

1 「専攻医」になるための登録・応募

登録を希望する基本領域学会のホームページを窓口として「専攻医登録」の申請をします。

2 プログラムごとに試験や面接

選考基準は各プログラムで規定されており、プログラム統括責任者などから試験・面接の詳細、案内が届きます。

3 採否の通知

各プログラムには定員があるため、一次登録で研修先が決まらない場合は二次登録を行うことになります。

4 研修プログラムに沿って3年以上の研修

「専攻医」として、採用された研修プログラムに沿って3年以上の研修を受けます。

5 基本領域の専門医資格を取得

症例実績や論文発表などの修了要件を満たし、筆記試験などをクリアして基本領域の専門医資格を取得することができます。

6 サブスペシャリティ領域の専門医資格を取得

基本領域の専門医資格を取得した後、さらに専門性に特化したサブスペシャリティ領域の専門医資格の取得をめざすことができます。

Q サブスペシャリティって何があるの？

A 2021年10月現在、日本専門医機構が認めている領域は以下のとおりです。

※名称等は今後再検討される予定

内科から進めるサブスペ領域

消化器病	呼吸器	内分泌代謝科	肝臓	老年病
消化器内視鏡	神経内科	糖尿病	アレルギー	リウマチ
循環器	血液	腎臓	感染症	がん薬物療法

外科から進めるサブスペ領域

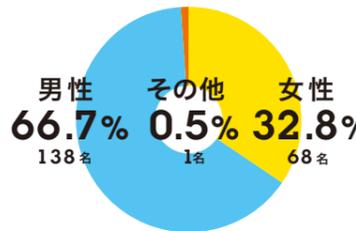
消化器外科	小児外科	乳腺
呼吸器外科	心臓血管外科	内分泌外科

放射線科から進めるサブスペ領域

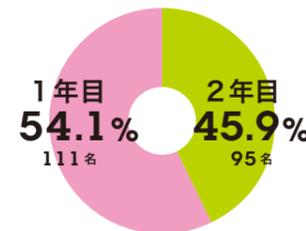
放射線診断
放射線治療



Q あなたの性別は？



Q 初期臨床研修年次は？

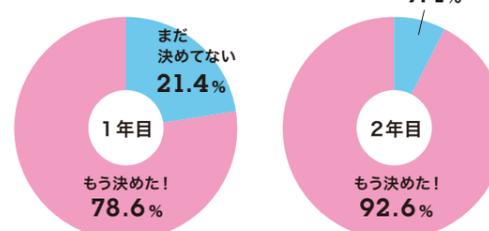


Q 現在勤務している研修先病院の種類

卒業大学の附属病院	11.4%
卒業大学以外の附属病院	7.4%
出身地の市中病院	47.5%
出身地以外の市中病院	33.2%
その他	0.5%



Q 専門研修はもう決めた？



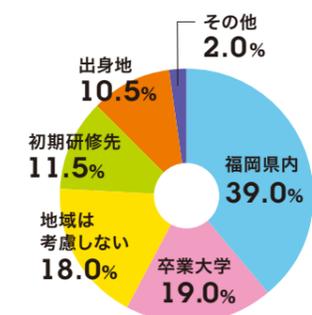
Q 将来、専門研修はどの基本領域をめざす予定？

内科	52人	眼科	10人	総合診療	4人
外科	23人	産婦人科	9人	脳神経外科	3人
整形外科	17人	救急科	9人	皮膚科	2人
麻酔科	13人	形成外科	8人	リハビリテーション科	2人
小児科	11人	耳鼻咽喉科	5人	泌尿器科	1人
精神科	10人	放射線科	5人		

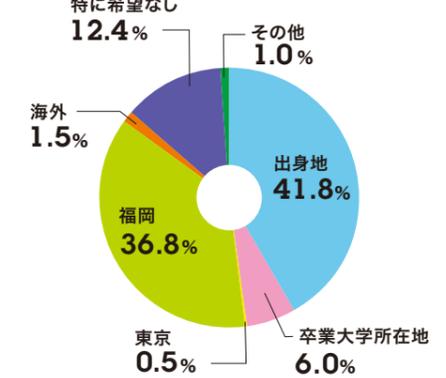
Q 専門研修プログラムを選ぶポイントは？

- 1位 基幹施設の規模
- 2位 病院の雰囲気
- 3位 症例数
- 4位 指導医
- 5位 給与・福利厚生
- 6位 ワークライフバランスの充実
- 7位 選択できるサブスペシャリティの数

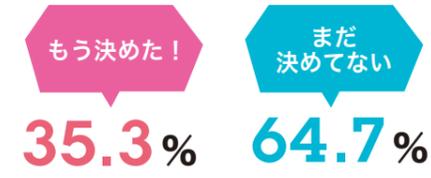
Q 希望する施設・地域は？



Q 将来希望する勤務地は？



Q サブスペシャリティの領域はもう決めた？



Q 将来、サブスペシャリティはどの領域をめざす予定？

消化器病	13人	放射線診断	4人	小児外科	2人
循環器	9人	呼吸器	3人	心臓血管外科	2人
糖尿病	7人	感染症	3人	リウマチ	1人
腎臓	6人	呼吸器外科	3人	乳腺外科	1人
内分泌代謝	4人	血液	2人	放射線治療	1人
アレルギー	4人	神経内科	2人		
消化器外科	4人	がん薬物療法	2人		

Q 大学医局への所属予定は？



“福岡県” 専門研修基本 19 領域 基幹施設一覧 (令和4年度)



県内の内科・外科・放射線科のサブスペシャリティ領域
および連動研修情報の詳細を知りたい方はこちらへ

※内科・外科のサブスペシャリティ領域の連動研修プログラムがある場合は「●」で記載しています。
※放射線科のサブスペシャリティ領域および連動研修については、該当施設に直接お問い合わせください。



★ 連動研修可

地域		福岡																			
基本診療領域	基幹施設	プログラム数	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
			雁の巣病院	九州医療センター	九州大学病院	九州中央病院	福岡県済生会福岡総合病院	千鳥橋病院	浜の町病院	福岡記念病院	福岡市立こども病院	福岡赤十字病院	福岡大学病院	福岡和白病院	福岡青洲会病院	福岡東医療センター	福岡病院	宗像水光会総合病院	福岡大学筑紫病院	福岡徳洲会病院	白十字病院
プログラム数		143	1	3	19	1	4	2	1	1	1	3	19	2	1	1	1	1	5	1	
内科	3	23	●	●	●	●	○	●				●	●					●	●	●	
小児科	3	9		○							○		○								
皮膚科	5	4			○								○								
精神科	3	8	○		○								○								
外科	3	14	●	●	●						●	●	●						●		
整形外科	4	5			○								○								
産婦人科	3	5			○								○								
眼科	4	4			○								○								
耳鼻咽喉科	4	4			○								○								
泌尿器科	4	4			○								○								
脳神経外科	4	5			○								○	○							
放射線科	3	4			○								○								
麻酔科	4	10			○								○						○		
病理	3	4			○								○								
臨床検査	3	4			○								○								
救急科	3	11			○		○						○						○		
形成外科	4	5			○								○						○		
リハビリテーション科	3	4			○								○								
総合診療	3	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

筑後																			筑豊		北九州							地域
基本診療領域	基幹施設	プログラム数	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37								
			久留米大学医療センター	久留米大学病院	新古賀病院	聖マリア病院	聖ルチア病院	高木病院	のぞえ総合心療病院	筑後市立病院	米の山病院	飯塚市立病院	飯塚病院	北九州総合病院	JCHO九州病院	北九州市立医療センター	北九州市立八幡病院	健和会大手町病院	小倉記念病院	産業医科大学病院								
プログラム数		1	18	2	4	1	1	1	1	1	2	1	7	1	4	3	2	5	3	18								
内科		●	●	●	●	●					●		●		●	●		●	●	●								
小児科		○		○								○		○		○				○								
皮膚科		○																		○								
精神科		○			○		○													○								
外科		●	●	●									●		●			●	●	●								
整形外科		○															○			○								
産婦人科		○											○							○								
眼科		○																		○								
耳鼻咽喉科		○																		○								
泌尿器科		○																		○								
脳神経外科		○																		○								
放射線科		○																		○								
麻酔科		○											○	○		○		○	○	○								
病理		○																		○								
臨床検査		○																		○								
救急科		○			○								○		○		○	○		○								
形成外科		○																		○								
リハビリテーション科		○																		○								
総合診療		○									○	○	○	○	○		○			総合診療								

“福岡県” 専門研修 基幹施設マップ



伊崎漁港



福岡市の夜景



門司港駅



筑後川昇開橋の夕暮れ



門司港レトロ地区の夜景



宮地嶽神社・光の道参道

福岡

- 01 雁の巣病院
- 02 九州医療センター
- 03 九州大学病院
- 04 九州中央病院
- 05 福岡県済生会福岡総合病院
- 06 千鳥橋病院
- 07 浜の町病院
- 08 福岡記念病院
- 09 福岡市立こども病院
- 10 福岡赤十字病院
- 11 福岡大学病院
- 12 福岡和白病院
- 13 福岡青洲会病院
- 14 福岡東医療センター
- 15 福岡病院
- 16 宗像水光会総合病院
- 17 福岡大学筑紫病院
- 18 福岡徳洲会病院
- 19 白十字病院

筑後

- 20 久留米大学医療センター
- 21 久留米大学病院
- 22 新古賀病院
- 23 聖マリア病院
- 24 聖ルチア病院
- 25 高木病院
- 26 のぞえ総合心療病院
- 27 筑後市立病院
- 28 米の山病院

筑豊

- 29 飯塚市立病院
- 30 飯塚病院

北九州

- 31 北九州総合病院
- 32 JCHO九州病院
- 33 北九州市立医療センター
- 34 北九州市立八幡病院
- 35 健和会大手町病院
- 36 小倉記念病院
- 37 産業医科大学病院



福岡県地域医療支援センター
福岡県 保健医療介護部 医療指導課
医師・看護職員確保対策室

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号
TEL: 092-643-3330 FAX: 092-643-3277
E-mail: ishikango@pref.fukuoka.lg.jp URL: <https://www.pref.fukuoka.lg.jp>

福岡県臨床研修病院ガイド2021

福岡県内の臨床研修病院全44施設を網羅したガイドブック「福岡県臨床研修病院ガイド」の2021年度版が完成しました。

<https://cms.fukuoka.jp/>

※こちらからご覧いただけます。

